



## 関門地域の市民参加によるフードロスを考えるプロジェクト (デジタル人材育成モデル実証事業)

経済学科4年

竹下 慶人さん

(長崎県立西陵高等学校出身)

12月8日(木)から12月10日(土)にかけて「びっくり仰天!『やさいの家』プロジェクト」を実施しました。最終日の12月10日には下関市内の高校生・下関市立大学の大学生ボランティアにもご協力いただき、下関市役所前の市民広場でイベントを開催しました。本プロジェクトは、下関市の施策である「スマートシティ化」の推進



に向けたデジタル人材育成の一環であり、参加した学生は、イベントの準備、運営の部分でプロジェクトに関わりました。身近なフードロス問題をデジタルと絡ませ、デジタルになじみのなかった市民の方々がフードロス問題に目を向けるきっかけになればと考え、野菜をモチーフにしたイベントを企画しました。学生自身でフードロス問題

に関するパネルを作成し、設置したやさいの家の中で展示を行うほか、イベントで配布するリーフレットの作成も行いました。また、会場内に下関市のポータルサイト「しもまちプラス」の登録ブースを設け、学生や高校生が登録の支援という形で、普及活動にも携わりました。その他、フォトスポットとしてのやさいのオブジェクトの設置や、JA山口さんから提供いただいたお米の配布を行いました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちからお年寄りまで多くの方に来場いただき、「デジタル」に触れるきっかけとなるイベントになったのではないかと思います。私たち学生自身もやさいの家に展示する資料の作成や「しもまちプラス」の事前学習など活動全体を通して、デジタルについて考える機会になりました。



に関するパネルを作成し、設置したやさいの家の中で展示を行うほか、イベントで配布するリーフレットの作成も行いました。また、会場内に下関市のポータルサイト「しもまちプラス」の登録ブースを設け、学生や高校生が登録の支援という形で、普及活動にも携わりました。その他、フォトスポットとしてのやさいのオブジェクトの設置や、JA山口さんから提供いただいたお米の配布を行いました。当日は天候にも恵まれ、子どもたちからお年寄りまで多くの方に来場いただき、「デジタル」に触れるきっかけとなるイベントになったのではないかと思います。私たち学生自身もやさいの家に展示する資料の作成や「しもまちプラス」の事前学習など活動全体を通して、デジタルについて考える機会になりました。



【特集】

# キャリアセンター長！ 今年の就職状況はいかがですか？

本学の卒業生の実就職率は毎年非常に高く、大学通信オンラインが発表している2022年学部系統別実就職率ランキング(経済系)では、全国5位、国公立大学では全国1位となっています。



「学内企業説明会」の様子

この結果は、4年生が就職活動を精一杯頑張った結果ですが、キャリアセンターとしても学生の頑張りを後方支援しています。

例えば、進路・就職相談では、キャリアカウンセリングの資格を持った相談員が常駐しており、1年生から4年生まで就職活動の悩みや疑問点、具体的なエントリーシートや履歴書の書き方・添削、面接対策など、気軽に相談できる体制を整えています。

また、キャリア教育(単位科目)とは別に、3年生の春学期から1年間、毎週1コマを使って就職活動のノウハウを学ぶ「就職基礎講座」や「就職ガイダンス」「就活ゼミ」を実施し、自分の大学の

先輩の成功例や失敗例など具体的な話を盛り込み、学生の心に響くような工夫をしています。

さらに、「就活直前セミナー・市大キャリアスタディ」では、毎年、3年生の2月に市大卒業生(企業等において実際に採用活動を行っている採用担当者を中心として)にお越しいただき、模擬面接と面接に対するフィードバックを行っています。また、「市大キャリアスタディ」では、社会人になるにあたっての心構えや社会人になる際に感じるギャップ(リアリティショック)を少しでも解消するため、卒業生が学生時代どんなことをしていたか、卒業後、どんな仕事に携わってきたのか、その業界や企業のトピックスなどをお話いただくイベントを実施しています。



本番さながら真剣に模擬面接に臨む「就活直前セミナー」

そして、「合同業界研究会 IN 市大」では、毎年10月から11月頃に東京や大阪の大手・優良企業を中心に、企業の採用担当者にブースを構えていただき、学生が気軽に仕事や業界、企業の話の話を聞くことができる研究会を実施しています。



「合同業界研究会 IN 市大」の様子

このように、大学が行う就職活動支援を学生がしっかり活用することで、高い就職実績を残すことができています。これから就職活動を本格化させる新4年生はもちろん、3・2・1年生のみならず、是非キャリアセンターへ足を運んでみてください。

上野 恵美  
キャリアセンター長



2022年度内定先一覧

2022/1/28現在

Table with 12 columns listing companies and their names. Includes categories like 金融・保険, 公務, 厚生労働省, 財務省, 防衛省, 裁判所, 警察庁, 県庁, 区市役所, 警察, 消防, 教員.

# 国際交流

～アフリカの風☆トーク&ミニライブ  
～ケニアから命の輝き  
～早川千晶と大西マサヤの  
ポレポレキャラバン2022～  
に参加して

国際商学科3年  
水元 寛夢さん  
(宮崎県立日南高等学校出身)



早川千晶さんは、ケニア・スラム街の子どもたちの駆け込み寺であるマゴソスクールを運営されている方です。私が早川さんのことを知ったのは、以前オンライン開催された講演会の時で、その時から活動に興味を持ち、「マゴコロ」というマゴソ学生のためのボランティアに参加させて頂き、島原でのポレポレキャラバンにも参加しました。

今回の「日本にいながら世界を知ろう!!アフリカの風☆トーク&ミニライブ～ケニアから命の輝き～」では、ケニアのことはもちろん早川さんや大西さんの生い立ちとアフリカ音楽を始めた理由など、これまでに知らなかったことを、お話いただいたり、お二人に

よる素敵な演奏でアフリカの音楽にも魅了されました。またトークライブ終了後には、早川さんとWSK(市大国際協力サークル)の座談会を開催し、WSKのメンバー達にもケニ



アやマゴソのことを知ってもらうきっかけになり、さらに国際協力を考える機会にもなりました。

大西マサヤさん、座談会にも参加して下さった早川千晶さん、貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。



## 日本文化の神髄を和服から感じた!

国際商学科2年  
白川 希華さん  
(下関商業高等学校出身)

「日本文化の神髄を知ろう!!～和服を纏って着物のマナーと日本舞踊体験をしよう!!～」に参加して、日本文化の高貴さを再認識することができました。このプログラ



ムに参加した理由は、来年春から1年間留学するにあたって、母国である日本文化特有の魅力より多くの人に伝えるために、まずは自分自身その魅力を感じ取る必要があると考えたからです。体験した第一の感想は、着物や浴衣には直線が織りなす見た目の美しさが有ると言うことです。これを身に纏うことで日本人ならで

はの品や凛とした所作が自然と出てくるようでした。日本にいと、日本にいるからこそ、こうした日本の文化に真剣に向き合う機会はありませんでしたが、今回和服の魅力



を肌で直接感じてみて、やはり日本の伝統文化である着物や日本舞踊には多くの魅力があると感じました。この他にも、まだまだ自分が気づいていない魅力的な文化が、日本には多く存在していると思います。今回このような機会を頂けたことに感謝し、日本人として日本の文化を再認識するとともに、一人でも多くの人に日本の魅力を伝えていきたいと思っています。



## 日本文化の神髄を知った!

大学院経済学研究科1年  
李 亜彤(リアトウ)さん  
(中国山東省淄博市出身)



10月に実施した「落語家桂竹千代さんと城下町長府を巡るミニぶらり旅」で、忌宮神社や功山寺を散策したり、下関歴史博物館で下関市に関する昔の歴史を勉強したり、桂竹千代さんの落語を見たりしてとても有意義な一日を過ごしました。

また、2年ぶりに開催される城下町長府時代祭りに丁度出合い



ました。長府時代祭りは新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ぶりの開催なので、みんなワクワクして見えていました。日本の

古代から近代までの歴史の中の偉人たちの話をミュージカル演出で見て、長府の街を昔の衣装の人々が行列で歩く姿にとっても感動しました。今まで触れる機会がなかった長府ならではの祭りを見ることができて、日本の伝統文化を堪能しました。

そして、功山寺で落語家桂竹千代さんの落語も聞きました。落語を聞くのは初めてですが、桂竹千代さんはわかりやすい落語を演じてくださり、留学生の私もちゃんと聞き取れて、面白いと思いました。最後に、様々な貴重なことを体験でき、とてもありがたかったです。

## お互いを知り、お互いの国に興味を持つことで、世界が広がりました!

経済学科2年  
王 尔涵(オウジカン)さん  
(中国広東省汕頭市出身)

山口県立下関中等教育学校4回生の皆さんとの交流会に参加しました。中国語を学んでいる生徒との交流ということで、とても楽しみにしていました。

私は中国広東省の限られた地域で学校生活を過ごしたので、日本人の高校生活や高校で何を勉強するかなど知りませんでした。しかし、交流会に参加して、生徒の皆さんと話すことはとても新鮮で、違う考えに触れることができました。また、日本の高校生は余暇に何をするのかなど疑問だったことが、生徒の皆さんと交流したことで解けました。生徒の皆さんが親切にけん玉や紙相撲など、日本の昔ながらの遊びを教えてくれ、それらを一緒に楽しむ

ことで、私は日本の文化について理解を深めることができました。今回の交流会はとても貴重な体験であり、日本の文化に対して



さらに興味が湧いてきました。これからもお互いを知り、互いの国に興味を持つことで、日本と中国の架け橋になれるよう、たくさんの行事に積極的に参加し、留学生生活を充実させたいです。



## グローバルキャリアの道～全ては未だ途中～

小野 勇真さん  
(2017年度 国際商学科卒業)

現在私は商社で営業をしています。転職してから約1年経ちましたが、不安定要素が減らない世界情勢下で刺激的な毎日を未熟ながら楽しんでます。グローバルキャリアの道の講演では

市大への入学前からの経歴や転職迄の経験や感じた事をなるべく当時の自分の言葉でお話ししました。参加して下さったみなさんに何か得るものがあったと感じてもらえたら嬉しいです。

関西の播州地域にルーツを持つ私には留学する前の下関の時点が既に異国でしたが、様々な価値観を持つ人と関わる中で自分の「枠」を広げられて良かったと感じています。

在学中に出会った後輩達にも伝えましたが、これから留学を考える皆さんには先輩達を超えて欲しいです。自分はちょっと無理して多くの授業を履修し、現地の日本語学科の学生に下関をアピールしただけですが、ルートヴィヒスハーフェン経済大学にはグローバルキャリアに直結させられる授業や世界に名が知れている企業が近所にあります。

野心を持って国際交流センターに行って、「留学したいです」と言ってみてください!

# クラブ・サークル

## 支えてくれたすべての方へ感謝を込めて 軟式野球部一同

国際商学科3年  
竹内 優太さん  
(高知商業高等学校出身)

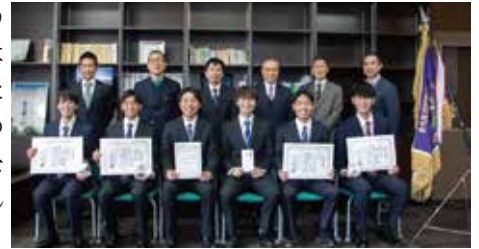


皆さんこんにちは。軟式野球部副キャプテン兼、西日本軟式野球連盟委員長の竹内優太です。この度、軟式野球部は、第38回

西日本学生軟式野球選抜大会において、大学史上初となる西日本制覇を達成しました。

私たち軟式野球部は、楽しく勝つことを理念として試合や練習に臨んできました。3年間という限られた時間の中で、お互いを知り、本音でぶつかり合える環境を作ることで、笑いあり涙ありの信頼しあえるチームへと成長していきました。そんな最高のチームメイトと、学生野球最後の大会を優勝で終えることができたことに喜びを感じています。

最後となりますが、今大会は大会関係者をはじめとする多くの方々にご尽力いただき、成功を収めることが出来ました。この場を借りて、改めて感謝の意を申し上げます。また、理事長賞を頂き、本当にありがとうございます。私は本大会で引退となりましたが、この結果に奢ることなく、勉学にも励んでいきます。



## 準硬式野球部・少林寺拳法部が全国大会に出場! さらに、準硬式野球部員がオールJAPAN大学選抜チーム選手に選抜されました



本学の準硬式野球部から4名が中国地区選抜チームの選手に選抜され全国大会に出場しました。また、経済学科3年の鈴木さんは、中国地区選抜に加え、オールJAPAN大学選抜チームにも選出され、オーストラリアに遠征しました。

少林寺拳法部の2名は、ともに大学に入学して始めたにも関わらず、山口県大会 組演武 大学生男子の部にて最優秀の成績を収め、「2022年少林寺拳法全国大会 in OSAKA」に出場しました。



### 2022年度秋季大会成績等

サークル名	個人名	大会等開催日	大会等名称	成績	備考
ラグビー部		10月16日	令和4年度山口県体育大会 ラグビーフットボール競技	1位	下関市チーム(他大学・社会人との混合チーム)
準硬式野球部	浦上 祥希・伊原 頼希	11月18日～20日	第40回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	出場	
	丹田 巧将・鈴木 秀伶	//	第40回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	出場	
	鈴木 秀伶	11月22日～29日	2022年度全日本大学準硬式野球連盟オールJAPAN大学選抜チーム選抜	選抜	オーストラリア遠征
軟式野球部		10月17日～21日	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦	優勝	
	小川 寛斗	//	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦 個人賞	MVP	
	宮原 綾成	//	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦 個人賞	優秀選手賞	
	竹内 優太	//	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦 個人賞	ベストナイン 捕手部門	
	橋本 龍哉	//	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦 個人賞	ベストナイン 外野手部門	
	米田 虎之介	//	令和4年度西日本地区学生軟式野球連盟秋季大会1部リーグ戦 個人賞	ベストナイン 外野手部門	
		11月14日～17日	第38回西日本学生軟式野球選抜大会	優勝	
	小川 寛斗	//	第38回西日本学生軟式野球選抜大会 個人賞	最高殊勲選手賞	
	東 尚輝	//	第38回西日本学生軟式野球選抜大会 個人賞	優秀選手賞	
橋本 貴哉	//	第38回西日本学生軟式野球選抜大会 個人賞	敢闘賞		
少林寺拳法部	青田 匡玖・野仲 涼太	11月6日	第56回少林寺拳法全日本学生大会	出場	組演武 男子白帯・緑帯の部
	大石 尚吾・安田 優平	11月19日～20日	2022年少林寺拳法全国大会 in OSAKA	出場	組演武 大学生男子の部
	大石 尚吾・安田 優平	12月4日	第12回少林寺拳法中四国学生冬季大会	第2位	組演武 男子茶帯の部
	青田 匡玖・野仲 涼太	//	第12回少林寺拳法中四国学生冬季大会	第1位	組演武 男子白緑帯の部
	山口 佑香・原田 瑞希	//	第12回少林寺拳法中四国学生冬季大会	第2位	組演武 女子白緑帯の部
陸上競技部	水川 彩花	10月28日～30日	第45回中国四国学生陸上競技選手権大会 女子10000m競歩	2位	
フィギュアスケート	吉嶺 優大	11月19日・20日	第65回福岡県民スポーツ大会スケート競技フィギュア部門	1位	男子5級

## 退任のごあいさつ



退職にあたって

飯塚 靖教授

私は2008年4月に本学経済学部の教授として着任しました。それまでは関東地方で大学非常勤講師などとして働きながら、好きな中国近現代経済史の研究を地味ながらも続けてきました。本学に採用されたのは50歳の時であり、大学専任になれた喜びは人一倍で、その時の感動は今でも鮮やかに蘇ります。その時は、本学からの期待に応えるために、教育と研究に精一杯取り組むことを決意しました。

本学は、諸先輩方の努力の積み重ねがあり、自治と自由の気風に溢れた素晴らしい学びの場でした。人員や予算の制約の中、教職員が知恵を出し合い協力し合って、魅力的な大学とすべく努力をしてきました。私の着任後も、多言語が学べ、国際交流も盛んな経済単科大学として輝きを増してきました。また、教員採用人事においても学閥などに依拠せず、公平で実力主義の人事がなされ、優秀な人材が参集してきました。そうした中で私も、充実した毎日を通すことができました。特に思い出されるのは、学生との海外旅行や合宿です。青島と釜山には、下関港からフェリーで行き、船旅の楽しさを満喫できました。宗像や周防大島でのゼミ合宿も懐かしい思い出です。大学院では中国人留学生と中国の現状を共に議論し、現代中国への理解を深めました。さらに、下関市在住の方から戦後中国での貴重な体験をお聞きする機会にも恵まれ、日中関係史を人的交流から探るといふ新しい研究にもチャレンジできました。退職後は関東地方に戻り、日中関係史や中国近現代史の研究を続け、著書をまとめたいと思います。好きな旅行を楽しみながら、一学生徒として生涯学び続けて行きます。



着手できなかった  
調査研究

叶堂 隆三教授

2008年に本学に赴任し3月末に定年退職を迎えます。あつという間の15年でした。公共マネジメント学科の新設に伴って異動し、その翌年に開講された公共マネジメント特講ではコーディネーターを担当しました。市職員の講師の案内で学生と2台のバスに分乗して市役所や市内の各施設を見学し、下関市を知る機会を得ました。

また、専門演習では宮崎県・福岡県・長崎県・広島県そして山口県内では柳井市周防大島等で大学内外の他ゼミとフィールドワークを実施しました。加えて関門共同研究に取り組み、大学内外の研究者とともに斜面地に住む住民の生活の実態を調査しました。

さらに、経済学研究科では研究と演習の科目を担当しました。演習では年上の社会人学生等を指導する機会を得ました。社会人のみならずは定年退職後に入学され、研究を深めたいという熱意をいだいた人たちでした。

15年前の赴任当時、年齢別の教員名簿では年上の教員が相当数いましたが、4、5年前から上の世代が少なくなると実感しはじめました。この頃に指導した社会人学生の中に、現役時代の職業生活観と退職後の生活観や行動の関連を研究している人がいて、私も退職した教員がどう生活しているのか興味を湧くようになりしました。とはいえ、退職した先生方を訪問することははばかられ、また地域社会と宗教文化に関する研究も着手することもできず、結果、新しい研究に着手することでもできず、私も退職者の一人に加わることになりました。



「すべての営みには  
時がある」

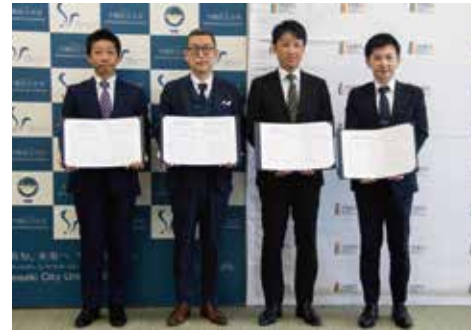
白川 春子准教授

四半世紀前に本学に着任し、多くの学生達と教職員の皆様に支えられて、定年を迎えられることに、心から感謝いたします。本学に着任した1996年10月には、まだ今日のような韓流ブームの兆しはなく、第一外国語で韓国語の科目名は朝鮮語を履修する学生は、1学年、10名に満たないほどでした。派遣留学制度もありましたが、受け入れのみ。それが今では、第一外国語で韓国語を履修する学生は1学年、60名ほどになり、ほぼ毎年のように6名の学生達が派遣留学生として長期韓国留学を体験しています。半世紀前、当時、マイナーな外国語だった韓国語に私が興味を持つようになった契機の一つは、「隣国の言葉なのに何故、知らないのだろうか？」という素朴な疑問でした。当時は韓国語の教科書もほとんどないような状況でしたが、なんとか学習する場を得て学んでみると、日本語ととても似ている言語であることに嬉しい驚きを感じて、ハマり、大学卒業後、韓国の大学院に留学するチャンスも与えられました。5年間のソウル留学から帰国して間もなく、80年代後半になると、隣国の言葉を学ぼうという機運が高まったのか、各大学で韓国語の授業が行われるようになり、私は10年間ほど、いくつかの近隣の大学で非常勤講師として韓国語を教えるようになりました。それから四半世紀、今ではK-POPに韓流ドラマや映画と日常に韓国語が溢れ、韓国語を学び、韓国に留学したいという人々が増え続けています。下関は地理的にも歴史的にも韓国に近く深い繋がりがありません。隣人を知ることで自らを省みることもあるのではないかと思います。私のような者が本学で若い学生の皆さんに韓国語を教えることができたことに感謝します。「すべての営みには時がある」(伝道者の書)3章1節)

# トピックス

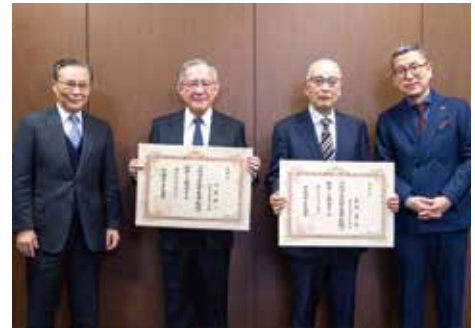
## データサイエンス分野の人材育成を目指し 山口フィナンシャルグループと包括連携協定を締結

地域の発展に向け、高度専門人材、特にデータサイエンス分野の人材育成において、包括的に連携するため、2022年10月14日（金）、株式会社山口フィナンシャルグループ、株式会社データキュービック及び株式会社YMFG ZONEプランニングと包括連携協定を締結しました。



## 荻野喜弘元学長、川波洋一前学長に 名誉教授の称号が授与されました

2022年12月22日（木）、名誉教授称号授与式が開催され、本学を退職された荻野喜弘元学長、川波洋一前学長に名誉教授の称号が授与されました。授与にあたり、韓学長から、先生方の本学着任以来長きにわたっての功績に対して、感謝の言葉が述べられました。



## 「日本遺産フェスティバルin関門」 学生サークルが運営に参加

2022年10月29日（土）・30日（日）に開催された日本遺産フェスティバルは、学生サークル・SCU地域魅力拡散し隊が企画から運営までを行政等に協力して開催されました。100を超える日本遺産PRブースの中、SCUは、関門ノスタルジック海峡をPRしました。



### 2023年度入試結果

2023年度入学者選抜試験のうち、学校推薦型選抜・特別選抜・第3年次編入学試験、外国人留学生選抜をそれぞれ実施しました。

学科	入試区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	実質倍率	
経済学科	推薦	全国	28	84	84	36	2.3
		地域	A	29	41	41	29
	B						
	特別選抜	社会人	2	0	—	—	—
		帰国子女	2	0	—	—	—
	外国人留学生	若干名	8	8	4	2.0	
第3年次編入学	8	17	11	8	1.4		
国際商学科	推薦	全国	28	68	67	33	2.0
		地域	A	29	37	37	31
	B						
	特別選抜	社会人	2	0	—	—	—
		帰国子女	2	0	—	—	—
	外国人留学生	若干名	21	21	12	1.8	
第3年次編入学	8	19	16	8	2.0		
学科 公共マネジメント	推薦	全国	8	28	28	14	2.0
		地域	A	8	12	12	8
	B						
	特別選抜	社会人	1	0	—	—	—
		帰国子女	1	0	—	—	—
	外国人留学生	若干名	3	3	2	1.5	
第3年次編入学	4	11	8	4	2.0		

※学校推薦型選抜の合格者には、第2・第3志望学科合格者を含みます。  
※受験者数・合格者数には、新型コロナウイルス等特別配慮者を含みます。

### 行事記録(2022年11月～2023年2月)

#### 2022年

- 11月 12日 大学祭(～13日)
- 15日 市民大学公開講座
- 19日 学校推薦型選抜・特別選抜・第3年次編入学試験
- 12月 1日 市民大学公開講座
- 17日 外国人留学生入試
- 27日 冬季休業(～1月3日)
- 29日 学内一斉休業(～1月3日)

#### 2023年

- 1月 4日 授業再開
- 14日 大学入学共通テスト(～15日)
- 30日 卒業論文提出日(～31日)
- 31日 大学院修士論文提出日
- 2月 1日 秋学期定期試験(～2月9日)
- 4日 特別専攻科入試、大学院入試(第2次募集)
- 10日 春季休業(～3月31日)
- 25日 一般選抜(前期日程)